

第 42 回 セルフケア事例検討会 レポート

平成 29 年 6 月 3 日(土) 13:30~16:00、県立矢吹病院より事例と会場をご提供いただき、セルフケア事例検討会を開催いたしました(参加者 51 名)。

事例検討会の前には矢吹病院からのご要望を受け「地域包括ケアシステムの時代に向けて」と題したテーマでミニレクチャーを実施いたしました。アンケートでは「地域包括ケアに向け、看護に何ができるのか改めて考えさせられた」「看護の役割を発揮していくため、自らアイディアを出したい」「リカバリーの観点を理想としてではなく現実的に使っていきたい」といった感想が寄せられました。

事例検討会では、参加者の方々からたくさんのご意見を頂き、「その人の望む生き方」と「その生き方を支えるためには」という視点のもと、可能性を信じて自己実現を支える看護のあり方、人とのつながりを実感できるような機会や場の提供の仕方、アカデミックな能力を発揮できる機会の設け方などを考え合うことが出来ました。アンケートでは「自分にはない発想が聞けて勉強になった、視野が広がった」といった感想の他、今回は訪問看護ステーションからの事例提供だったこともあり、「普段臨床ではわからない情報を知れた(訪問看護について、地域で生活する人へのサポート体制、そのサービスの豊富さについて)」といった感想が多く寄せられました。

次回は平成 29 年 9 月 30 日(土) 13:30~14:00 に長橋病院(いわき市)を会場に開催いたします。多数のご参加をお待ちしております。

